

平成26年4月18日

南海電気鉄道株式会社

みさき公園でナマケモノの赤ちゃんが生まれました！

フタユビナマケモノの飼育頭数が日本1位になりました！

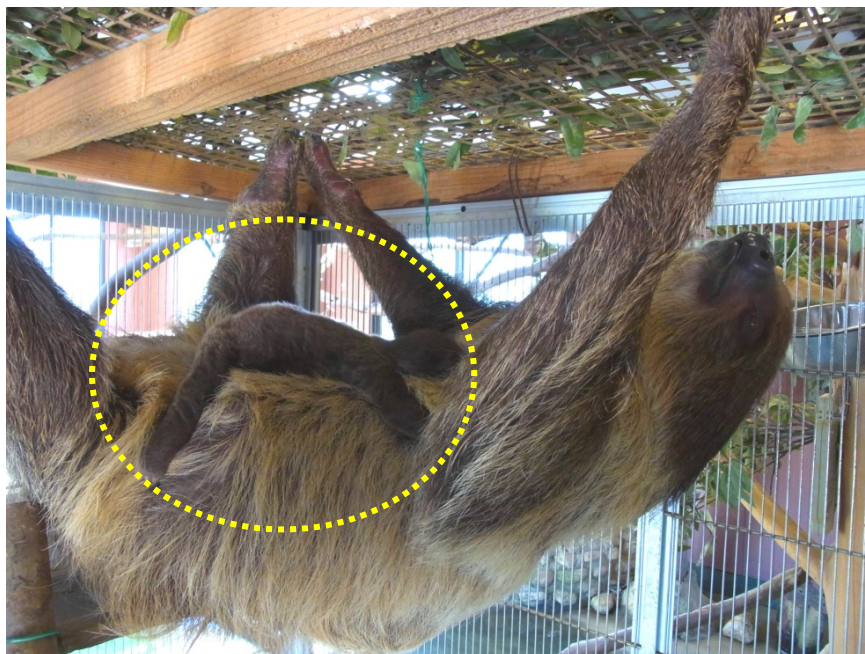
南海電鉄（社長：亘 信二）が経営する「みさき公園」（園長：東方 豊）では、3月30日（日）にナマケモノの赤ちゃんが誕生しました。赤ちゃんは、同園で生まれた初の3世です。

「今後もっと赤ちゃんが増えて、にぎやかな動物園になりますように」との従業員一同の願いを込め、「モア(m o r e)」と名付けました。

なお、モアの出生をもって、同園のフタユビナマケモノの飼育頭数は、6頭となり日本最多^{*}です。モアは母親のムーと飼育員たちの愛情を一身に受けて、すくすくと育っています。園内の「南米の森」で公開していますので、可愛いナマケモノの親子と仲間たちをぜひご覧ください。

詳細は別紙のとおりです。

※平成26年4月、公益社団法人 日本動物園水族館協会加盟施設を対象に調査



母親のムーに抱かれたモア

別紙

1. 出生した「フタユビナマケモノ」の赤ちゃんについて

出生日：平成26年3月30日（日）

名前：モア

※みさき公園で出生した初の3世となります。

2. みさき公園のナマケモノについて

同園では現在6頭のフタユビナマケモノを飼育しています。

- ・オス 2頭
- ・メス 3頭
- ・不明（モア） 1頭

3. 公開場所について

現在、モアは、園内の「南米の森」にあるナマケモノ・アルマジロ舎に展示しています。体調などによってご覧いただけない場合があります。

4. その他

<フタユビナマケモノについて>

科目：異節目（貧歯目）フタユビナマケモノ科

生息：中南米の熱帯林

特徴：名前の通り、前肢の指が2本あることが特徴です。食事や睡眠から交尾、出産まで木にぶら下がったままで行います。しかし、排便と排尿は週に1回程度、木から降りて行います。

<「南米の森」について>

南米の森は、みさき公園の開園55周年を記念して、平成24年3月に設立された施設です。「ナマケモノ・アルマジロ舎」「リスザル舎」「カピバラ舎」からなり、南米に生息する動物を一体的に展示しています。

<みさき公園の概要について>

①営業時間 9：30～17：00

②休園日 毎週水曜（4月30日を除く）と6月30日

※6月末日まで

③入園料 大人（中学生以上） 1,350円

こども（3歳から小学生） 700円

④所在地 〒599-0301 大阪府泉南郡岬町淡輪3990

⑤加盟団体 公益社団法人 日本動物園水族館協会など

6. お客さまのお問い合わせ先

みさき公園 TEL：072-492-1005

以上